

平成 15 年度（社）日本音響学会九州支部活動報告書

2004 年 3 月 30 日

日本音響学会九州支部 庶務幹事 上田和夫

以下、役員会および総会の資料に沿って、報告、審議事項を説明し、活動報告としたい（役員会の議事は総会と同じ）。これらの報告、審議事項はすべて役員会および総会によって承認された。

平成 15 年度（社）日本音響学会九州支部総会

会 場：九州大学大橋キャンパス（旧九州芸術工科大学）3 号館 2 F, 322 教室
福岡市南区塩原 4-9-1

日 時：平成 16 年 3 月 27 日（土曜日）
(13:00 ～ 14:20 役員会，3 号館 6 F, 601 輪講室にて)
14:30 ～ 16:00 総 会
16:00 ～ 16:15 学生表彰式
16:15 ～ 17:30 九州大学 21 世紀 COE プログラム施設見学会（厚生棟 4 F）
見学会終了後 懇親会

総会議事：14:30 ～ 16:00

1. 平成 15 年度活動報告
2. 平成 15 年度収支報告（予算費目変更を含む）
3. 平成 15 年度会計監査報告
4. 平成 16 年度活動計画
5. 平成 16 年度予算案
6. 新役員および評議員の選挙結果報告と承認について
7. 日本音響学会九州支部規則および細則の改正について
8. 電気関係学会九州支部連合会役員の承認について
9. 電気関係学会九州支部連合会の運営形態について
10. 電気関係学会九州支部連合会の著作権規定について
11. 支部学生表彰について
12. その他

学生表彰式：16:00 ～ 16:15

"九州大学 21 世紀 COE プログラム：感覚特性に基づく人工環境デザイン研究拠点"
施設見学会：16:15 ～ 17:30（厚生棟 4 F）

1. 平成 15 年度活動報告

事業年度：平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日

(1) 平成 15 年度会員現況

会員種別	平成 15 年 3 月 31 日現在	平成 16 年 3 月 31 日現在	平成 15 年度内 の増減
名誉会員	0	0	0
終身会員	3	4	+1
正会員	193	190	-3
学生会員	65	76	+11
会員数 合計	261	270	+9
賛助会員	5 社 5 口	4 社 4 口	-1

(2) 支部総会定足数の確認

支部総会（平成 16 年 3 月 27 日 14:30～16:00）において、

議決権を持つ会員数：名誉会員数，終身会員数，正会員数の合計であるので 194 名、

定足数：39 名（議決権を持つ会員数の 5 分の 1）、

出席者 21 名、委任状 57 名、計 78 名であるので、総会成立。

(3) 事業内容

1. 九州支部主催または共催の研究発表会、研究会等の実施

開催日	支部主催、 共催の別	会合名（開催場所）
9 月 5-7 日（金～日）	共催	音楽音響研究会（九州芸術工科大学）
10 月 18 日（土）	主催	学生のための研究発表会 [九州大学大橋キャンパス（九州芸術工科大学）]
10 月 24 日（金）	共催	騒音・振動研究会（熊本大学）
11 月 27 日（木）	共催	建築音響研究会（アクロス福岡）
11 月 27, 28 日（木，金）	共催	応用（電気）音響研究会 [九州大学大橋キャンパス（九州芸術工科大学）]
12 月 15 日（月）	共催	聴覚研究会（熊本大学）

2. 学生表彰の実施

平成 15 年度内に九州支部が主催または共催した，研究発表会，研究会における学生の口頭発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する事業を行った。応募者を増やすため，共催の研究会に座長推薦を依頼したが，今年度は推薦がなかった。今年度は，審査を平成 16 年 1 月に行い，3 月の総会開催時に表彰式ができるようにした。応募者数 10 名，審査協力者数 10 名，表彰対象者数 3 名（表彰対象者の詳細は後の議事で報告）。

3. 電気関係学会九州支部連合会における活動

- 1 平成 15 年度の担当学会として，連合会の運営を担当した。庶務幹事会を 2 回，役員会を 3 回，開催し，会計幹事，会計監査の導入による会計制度の改善，組織の実態を反映するための規則改正などを行った。
- 2 連合大会運営委員会を立ち上げ，担当学会として，連合大会の開催，連合会大会運営の電子化などの事業に携わった。
- 3 電気関係学会九州支部連合大会。平成 15 年 9 月 26, 27 日に，熊本の崇城大学で開催され，のべ 647 件の発表が行われた。

4. 韓国音響学会嶺南支部との連携

平成 16 年度開催予定の第 2 回 「Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics: YKJCA-2005」の開催（開催地：韓国）へ向けた準備。

(4) 事務，その他の活動

1. メーリングリストの維持，管理

アドレスの維持，管理。熊本大学に所属する会員のボランティアによる運営。

2. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書，支部からのお知らせ，支部行事の報告，研究室訪問の充実。同上のボランティアによる運営。

3. 役員選挙の実施および役員会，総会の開催

平成 16 年 3 月に実施，開催。

2. 平成15年度収支報告（予算費目変更を含む）

予算費目の見直しについて

本部事務局より、会計を事務費（運営に関わる費用）と事業費（事業に関わる費用）に明確に分類する旨の要請があり、これに従って収支決算書を作成することとした。本表はこれに伴う平成15年度予算の枠組みの見直し対応表である。

平成15年度予算（見直し前）

平成15年3月29日	
収入の部	平成15年度 予算額
■ 日本音響学会支部交付金	396,000
■ 繰越再交付金	605,363
当期収入合計 (A)	1,001,363
前期繰越収支差額	0
収入合計 (B)	1,001,363

平成15年度	
支出の部	予算額
■ 事務費	115,000
● 通信費	40,000
● 文具消耗品費・雑費	25,000
● アルバイト	50,000
■ 事業費	377,000
● 学生のための研究発表会	70,000
○ 特別講演準備補助 (2名分)	20,000
○ 講演資料作成費	50,000
● ASJ九州-ASK嶺南合同音響会議 (名称: Kyushu - Youngnam Joint Conference on Acoustics)	0
○ 特別講演準備補助 (2名分)	0
○ 講演資料作成費	0
○ 会場費	0
● 交流推進経費	65,000
○ 平成15年度連合大会 (崇城大 学) 準備推進費	25,000
○ ASK嶺南支部交流費	40,000
● 学生表彰	100,000
● ネットワーク環境整備	30,000
● 講演会・研究会開催支援	70,000
● 支部総会会場費	12,000
● 電気関係学会九州支部連合会分担 金	30,000
■ 予備費	50,000
● 予備費	50,000
当期支出合計 (C)	542,000
当期収支差額 (A)-(C)	459,363
次期繰越収支差額 (B)-(C)	459,363
★ 繰越金返金	459,363
支部繰越金	0

平成15年度予算（見直し後）

平成16年3月27日		備考
収入の部	平成15年度 予算額	
■ 日本音響学会支部交付金	396,000	
■ 雑収入	0	預金利子
当期収入合計 (A)	396,000	
■ 繰越再交付金	605,363	
収入合計 (B)	1,001,363	

平成15年度		予算備考
支出の部	予算額	
■ 事務費	127,000	
● 支部総経費	32,000	費目見直し (事務費: 総経費全体)
○ 支部総会会場費	12,000	費目見直し (事業費→事務費)
○ 講演謝礼	10,000	費目見直し (総会に関わる講演)
○ アルバイト	10,000	費目見直し (総会に関わるアルバイト)
○ 雑費	0	
● 通信費	40,000	
● 文具消耗品費・雑費	25,000	
● ネットワーク環境整備	30,000	費目見直し (事業費→事務費)
● 諸手数料	0	
■ 事業費	365,000	
● 電気関係学会九州支部連合会分担金	30,000	
● 学生のための研究発表会	110,000	
○ 会場使用料	0	
○ 特別講演準備補助 (2名分)	20,000	
○ 講演資料作成費	50,000	
○ アルバイト	40,000	費目見直し (事業におけるアルバイト)
○ 雑費	0	
● 講演会・研究会開催支援	60,000	総会関係分は事務費に計上
● 学生表彰	100,000	
● 交流推進経費	65,000	
○ 平成15年度連合大会 (崇城大学) 準備推進費	25,000	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	
■ 予備費	50,000	
● 予備費	50,000	
当期支出合計 (C)	542,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-146,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	459,363	
★ 繰越金返金	459,363	
支部繰越金	0	

平成15年度日本音響学会九州支部決算（案）

平成16年3月27日

収入の部	平成15年度 予算額	平成15年度 決算額	差異 決算－予算	備考
■ 日本音響学会支部交付金	396,000	396,000	0	
■ 雑収入	0	11	11	預金利子
当期収入合計 (A)	396,000	396,011	11	
■ 繰越再交付金	605,363	605,363	0	
収入合計 (B)	1,001,363	1,001,374	11	

支出の部	平成15年度 予算額	平成15年度 決算額	差異 予算－決算	予算備考
■ 事務費	127,000	79,014	47,986	
● 支部総会経費	32,000	37,368	△5,368	費目見直し（事務費：総会経費全体）
○ 支部総会会場費	12,000	10,140	1,860	費目見直し（事業費→事務費）
○ 講演謝礼	10,000	10,000	0	費目見直し（総会に関わる講演）
○ アルバイト	10,000	14,400	△4,400	費目見直し（総会に関わるアルバイト）
○ 雑費	0	2,828	△2,828	
● 通信費	40,000	30,320	9,680	
● 文具消耗品費・雑費	25,000	10,067	14,933	
● ネットワーク環境整備	30,000	0	30,000	費目見直し（事業費→事務費）
● 諸手数料	0	1,259	△1,259	
■ 事業費	365,000	268,804	96,196	
● 電気関係学会九州支部連合会分担金	30,000	30,000	0	
● 学生のための研究発表会	110,000	143,444	△33,444	
○ 会場使用料	0	10,470	△10,470	
○ 特別講演準備補助（2名分）	20,000	0	20,000	
○ 講演資料作成費	50,000	78,750	△28,750	
○ アルバイト	40,000	48,150	△8,150	費目見直し（事業におけるアルバイト）
○ 雑費	0	6,074	△6,074	
● 講演会・研究会開催支援	60,000	50,000	10,000	総会関係分は事務費に計上
● 学生表彰	100,000	45,360	54,640	
● 交流推進経費	65,000	0	65,000	
○ 平成15年度連合大会（崇城大学） 準備推進費	25,000	0	25,000	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	0	40,000	
■ 予備費	50,000	0	50,000	
● 予備費	50,000	0	50,000	
当期支出合計 (C)	542,000	347,818	194,182	
当期収支差額 (A)-(C)	-146,000	48,193	△194,193	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	459,363	653,556	△194,193	
★ 繰越金返金	459,363	653,556	△194,193	
支部繰越金	0	0	0	

3. 平成 15 年度会計監査報告

会計監査の結果、適正と認められたので報告する。

4. 平成 16 年度活動計画

事業年度：平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日

(1) 事業計画

1. 九州支部主催または共催の研究発表会，研究会等の実施

平成 16 年度も，前年度並みの開催数を見込んでいる。講演会，学会等の開催協力にも適宜，対応する。沖縄，琉球大学で開催される日本音響学会研究発表会の講演発表，懇親会への参加を呼びかける。

2. 学生表彰の実施

平成 16 年度内に九州支部が主催または共催する，研究発表会，研究会における学生の口頭発表を対象として応募者を募り，特に優れたものを表彰する。

3. 電気関係学会九州支部連合会における活動

分担金の支出，役員の派遣。連合大会が 9 月 27, 28 日（月，火）に鹿児島，鹿児島大学工学部にて開催される。講演申し込みおよび論文投稿受付期間は 7 月 1 日から 7 月 20 日である。

4. 韓国音響学会嶺南支部との連携

平成 16 年度開催予定の第 2 回 「Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics: YKJCA-2005」の開催（開催地：韓国）。現在のところ，宇佐川評議員に韓国側との連絡役をしていただいている。

(2) 事務，その他の活動

1. メーリングリストの管理移行の検討

学会本部に管理を移行するか検討する。日本音響学会九州支部ホームページにメーリングリストへの登録方法を記載する。

2. インターネットを利用した支部の活動の公開（継続）

掲載内容の充実：九州支部関連文書，支部からのお知らせ，支部行事の報告，

研究室訪問の充実。

3. 役員選挙の実施および役員会，総会の開催
平成17年3月に実施，開催。

5. 平成16年度日本音響学会九州支部予算（案）

平成16年3月27日
(平成16年4月19日再計算により修正)

収入の部	平成16年度 予算額	平成15年度 予算額	差異 16予算-15予算	備考
■ 日本音響学会支部交付金	396,000	396,000	0	
■ 雑収入	0	0	0	預金利子
当期収入合計 (A)	396,000	396,000	0	
■ 繰越再交付金	653,556	605,363	48,193	
収入合計 (B)	1,049,556	1,001,363	48,193	

支出の部	平成16年度 予算額	平成15年度 予算額	差異 16予算-15予算	予算備考
■ 事務費	154,155	127,000	27,155	
● 支部総会経費	29,155	32,000	△2,845	費目見直し（事務費：総会経費全体）
○ 支部総会会場費	4,155	12,000	△7,845	費目見直し（事業費→事務費）
○ 講演謝礼	0	10,000	△10,000	費目見直し（総会に関わる講演）
○ アルバイト	20,000	10,000	10,000	費目見直し（総会に関わるアルバイト）
○ 雑費	5,000	0	5,000	
● 通信印刷費	40,000	40,000	0	
● 文具消耗品費	25,000	25,000	0	
● ネットワーク環境整備	30,000	30,000	0	費目見直し（事業費→事務費）
● 給与諸給	10,000	0	10,000	費目見直し（事務に関わるアルバイト）
● 諸手数料	5,000	0	5,000	
● 雑費	15,000	0	15,000	
■ 事業費	345,360	365,000	△19,640	再計算により修正(平成16年4月19日)
● 電気関係学会九州支部連合会分担金	30,000	30,000	0	
● 学生のための研究発表会	0	110,000	△110,000	
○ 会場使用料	0	0	0	
○ 特別講演準備補助（2名分）	0	20,000	△20,000	
○ 講演資料作成費	0	50,000	△50,000	
○ アルバイト	0	40,000	△40,000	費目見直し（事業におけるアルバイト）
○ 雑費	0	0	0	
● 講演会・研究会開催支援	60,000	60,000	0	総会関係分は事務費に計上
● 学生表彰	45,360	100,000	△54,640	
● 交流推進経費	40,000	65,000	△25,000	
○ 連合大会準備推進費	0	25,000	△25,000	
○ ASK嶺南支部交流費	40,000	40,000	0	
● ASK嶺南-ASJ九州合同音響会議 （名称：Youngnam-Kyushu Joint Conference on Acoustics）	140,000	0	140,000	
○ 講演資料作成費	40,000	0	40,000	
○ 会場費	0	0	0	
○ アルバイト	60,000	0	60,000	費目見直し（事業におけるアルバイト）
○ 通信費印刷費	20,000	0	20,000	
○ 雑費	20,000	0	20,000	
● 雑費	30,000	0	30,000	
■ 予備費	0	50,000	△50,000	
● 予備費	0	50,000	△50,000	
当期支出合計 (C)	499,515	542,000	△42,485	再計算により修正(平成16年4月19日)
当期収支差額 (A)-(C)	△103,515	△146,000	42,485	再計算により修正(平成16年4月19日)
次期繰越収支差額 (B)-(C)	550,041	459,363	90,678	再計算により修正(平成16年4月19日)
★ 繰越金返金	550,041	459,363	90,678	再計算により修正(平成16年4月19日)
支部繰越金	0	0	0	

6. 平成 16 年度支部役員および評議員選挙結果

平成 16 年 3 月 27 日

(社) 日本音響学会九州支部

任期：平成 16 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

有効投票数：62 票

役職別	得票数	候補者氏名	勤務先
支部長 (1 名選定)	61	渡邊 亮	熊本県立技術短期大学校
副支部長 (1 名選定)	62	高良 富夫	琉球大学工学部
評議員 (5 名選定)	61	大鶴 徹	大分大学工学部
	61	白石 君男	九州大学大学院芸術工学研究院
	62	福留 公利	九州大学大学院芸術工学研究院
	62	藤原 恭司	九州大学大学院芸術工学研究院
	62	柚木 謙一	鹿児島大学工学部
庶務幹事 (1 名選定)	61	鮫島 俊哉	九州大学大学院芸術工学研究院
会計幹事 (1 名選定)	62	秋田 昌憲	大分大学工学部
会計監査 (1 名選定)	62	江端 正直	熊本電波工業高等専門学校

来年度まで任期が継続する役員は、以下のとおりです。

任期：平成 15 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日

- ・ 評議員：上田 裕市, 宇佐川 毅, 黒岩 和治, 瀬戸 邦聰, 西 隆司
- ・ 庶務幹事：緒方 公一
- ・ 会計幹事：若宮 幸平
- ・ 会計監査：藤本 卓也

7. 日本音響学会九州支部規則および細則の改正について

(1) 支部規則の見直し

評議員の定数を見直す必要があるかどうかを検討する。議決権を持つ会員数が 194 名という支部の規模から考えて、10 名の評議員を持っている現状は妥当であろうか。支部長その他の役員 8 名と合わせると支部会員の約 10%が、役員または評議員となっている。この件について継続して審議を行う。

(2) 支部細則の改正

平成 15 年 10 月 1 日に、九州芸術工科大学が九州大学と統合されたことに伴い、細則に規定されている事務所の所在地を修正する。

(現細則)

平成 10 年 4 月 3 日制定

...

[第 1 条] 事務所の所在地は、当面以下のいずれかとする。

- ・九州芸術工科大学芸術工学部音響設計学科内
- ・熊本大学工学部数理情報システム工学科内

...

[付則]

この細則は平成 10 年 4 月 3 日から施行する。

(改正案)

平成 10 年 4 月 3 日制定

平成 16 年 3 月 27 日改正

...

[第 1 条] 事務所の所在地は、当面以下のいずれかとする。

- ・九州大学大学院芸術工学研究院内
- ・熊本大学工学部内

...

[付則]

1 この細則は平成 10 年 4 月 3 日から施行する。

2 この細則の改正は、平成 15 年 10 月 1 日から適用する。

8. 電気関係学会九州支部連合会役員承認について

来年度、電気関係学会九州支部連合会に、4名の役員を派遣することが決まっている。そこで、以下の役員を派遣することを提案する。

日本音響学会九州支部 における役職	電気関係学会九州支部連合会 における役職	役員氏名
支部長	副会長	渡邊 亮
副支部長	役員	高良 富夫
庶務幹事	役員（庶務幹事）	緒方 公一
会計幹事	役員	若宮 幸平

9. 電気関係学会九州支部連合会の運営形態について

平成16年1月26日の電気関係学会九州支部連合会役員会において、運営を担当する学会が、現状では参加7学会すべての持ち回りとなっているが、これで良いのかという意見が篠原運営委員長から出された。他支部では、2,3の、比較的規模の大きな学会が幹事学会となって実務を担当する例が多く、すべての加盟学会で持ち回りを行っているのは九州支部だけである。少数の幹事学会が実務の全部、あるいは大部分を担当するべきであるという意見と、来年度は事務局の引き継ぎが行われるので、大幅な組織変更は避けた方がよいのではないかという意見の両方が述べられた。この問題について、各学会に持ち帰って、検討を開始していただくことが承認された。

以下に篠原運営委員長から提出された、各連合会支部の運営形態に関する資料を示す。日本音響学会九州支部役員会、総会における審議の結果、この中の東海支部方式を希望順位1位、北海道支部方式を希望順位2位として、運営形態の変更を電気関係学会九州支部連合会に求めることになった。

各連合会支部の運営形態

連合会支部名	運 営 形 態	加 盟 学 会
北海道支部	主当番学会（電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会から持ち回りで1学会）と副当番学会（照明学会、映像情報メディア学会、電気設備学会から持ち回りで1学会）が出て、連合大会開催大学と共に運営。	電気学会、照明学会、電子情報通信学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、電気設備学会（各北海道支部）、IEEE 札幌支部
東北支部	幹事学会は、電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会の3学会で持ち回り。この幹事学会を中心に全加盟学会で運営。	電気学会・電子情報通信学会・照明学会・日本音響学会・映像情報メディア学会・情報処理学会・電気設備学会（各東北支部）、IEEE SENDAI SECTION

各連合会支部の運営形態（続き）

連合会支部名	運 営 形 態	加 盟 学 会
東海支部	事務局は、電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会の3学会で持ち回り。	電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本音響学会各東海支部・電気設備学会中部支部・IEEE 名古屋支部
北陸支部	連合大会開催校から実行委員長、庶務幹事、会計幹事を選出しその年の運営を取り仕切る。	電気学会・電子情報通信学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本ME学会・情報処理学会・計測自動制御学会各北陸支部 (共催：日本音響学会・電気設備学会北陸支部)
関西支部	(無回答)	電気学会・電子情報通信学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本音響学会・電気設備学会 各関西支部
中国支部	(無回答)	映像情報メディア学会・電気学会・電子情報通信学会・照明学会・情報処理学会・電気設備学会 各中国支部
四国支部	事務局は、電気学会、電子情報通信学会の2学会が交互に行っている。論文集の広告集めは全学会で分担。(広告集めの取りまとめは2学会以外の6学会から1学会選出)	電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、IEEE、電気設備学会 各四国支部
九州支部	全加盟学会が持ち回りで運営を担当。	電気学会・電子情報通信学会・映像情報メディア学会・照明学会・情報処理学会・電気設備学会・日本音響学会 各九州支部 (協賛：IEEE FUKUOKA SECTION)

10. 電気関係学会九州支部連合会の著作権規定について

同上の役員会において、連合大会講演論文集に掲載される論文の著作権の扱いについて、著作権規程（案）の提案があった。各学会に案を持ち帰って検討していただき、次回の役員会で再び議論することとなった。次ページに著作権規定（案）を示す。この案を承認することが了承された。

2004/1/26

電気関係学会九州支部連合会著作権規程(案)

1 著作権の帰属

1) 講演論文集に掲載される論文の著作権¹は、国内外を問わず、原則として電気関係学会九州支部連合会(以下、本会という)に帰属する。

2 著作権の譲渡

- 1) 著作者から本会への著作権の譲渡は、本会が原稿を受領した時点で成立するものとする。
- 2) 講演論文集に掲載されないことが決定された場合、本会は当該論文の著作権を著作者に返還する。

3 著作権の利用

- 1) 著作者自身が、私的目的のために自己の著作物を利用する場合には、本会の許諾を必要としない。非私的目的であっても、非営利目的ならば本会の許諾を必要としないものとする。
- 2) 講演論文集に掲載された論文について、第三者より著作権の利用許諾申請があった場合、本会役員会において審議し、適当と認めたものに限り許諾を行う。また、利用許諾する権利の運用を役員会の承認を得て外部機関に委託することができる。
- 3) 前項の措置によって第三者から支払いがあった場合には、本会会計に繰り入れ、学会活動に有効に活用する。

4 著作者の責任

- 1) 講演論文集に掲載された論文の内容については、著作者が創作に関与した部分については、その著作者自身が責任を負うものとする。
- 2) 講演論文集に掲載された論文が第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、当該論文の著作者が一切の責任を負う。

5 著作権侵害排除

- 1) 講演論文集に掲載された論文に対して、第三者による著作権侵害があった場合、本会と著作者が対応について協議し、解決を図るものとする。

¹ここでいう著作権は、日本国著作権法第21条から第28条までに規定されている以下の権利を含む。

複製権(第21条)、上演権及び演奏権(第22条)、上映権(第22条の2)、公衆送信権等(第23条)、口述権(第24条)、展示権(第25条)、頒布権(第26条)、譲渡権(第26条の2)、貸与権(第26条の3)、翻訳権、翻案権等(第27条)、二次的著作物の利用に関する原著作(第28条)

11. 支部学生表彰について

18名の役員中、10名の方からいただいた審査結果に基づき、学部生、大学院博士前期課程、大学院博士後期課程の各カテゴリで最も得点の高かった、以下の3名を表彰することが承認された。

学生氏名（よみがな）：折田智史（おりた さとし）

学生所属：熊本大学工学部数理情報システム工学科4年

口頭発表論文題目：音像定位を考慮したステレオ音響信号の評価手法の検討

指導教官氏名：宇佐川 毅

学生氏名（よみがな）：井上恵（いのうえ めぐみ）

学生所属：九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科博士前期課程2年

口頭発表論文題目：残響下における補聴器装用状態の評価法に関する検討－片耳装用と両耳装用について－

指導教官氏名：白石君男

学生氏名（よみがな）：崔 鍾大（チェ ジョンデ）

学生所属：九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科博士後期課程3年

口頭発表論文題目：自動車内の各種サイン音にとって望ましい音響特性

指導教官氏名：岩宮 眞一郎

12. その他